

国内コロナ感染最多2809人

国内で九日、新たに過去最多の二千八百九人の新型コロナウイルス感染者が確認され、これまでで認された。厚生労働省が発表した重症者も前日から十人増えて、これまでで最

多の五百五十五人となつた。都道府県別では群馬、

愛知、京都、広島、大分、

鹿児島の六府県で過去最多を更新した。①面参照

感染者は東京五百七十二人、大阪四百一十七人、神奈川と愛知で各三百四十五

人も多い五百五十五人となつた。都道府県別では群馬、愛知、京都、広島、大分、鹿児島の六府県で過去最多も多いた。死者数としては最多の十六人、大阪九人、東京・埼玉で各五人など、全国で計四十二人が確認された。

死者は北海道が一日の死者数としては最多の十六人、北海道百九十七人など。死者数としては最多の十六人、大阪九人、東京・埼玉で各五人など、全国で計四十二人が確認された。

国内の累計感染者数はクルーズ船ダイヤモンド・プリンセスの乗客乗員を含めて十七万四千八百人。死者は二千五百人。

16万9336人(+2809)	2437
688 (+11)	11
1248 (+77)	88
420 (+4)	12
187 (+4)	19
196 (+1)	33
353 (+1)	77
281 (+18)	84
6243 (+54)	110
351 (+6)	82
278 (+1)	13
1142 (+16)	13
439 (+21)	33
573 (+5)	82
741 (+40)	13
縄4653 (+43)	75
空港検疫など	1640 (+8)
チャーター機	14

コスタアトランチカ 149
(長崎クルーズ船)

712人 **13**

国内での確認	
北海道 1万0535 (+197)	287
福山 354 (+9)	6
井梨野 225 (+1)	6
長岐 1379 (+43)	12
静愛 87	16
三滋 196 (+10)	19
京大 557 (+5)	8
兵奈 1892 (+14)	24
奈和 800 (+18)	33
歌山 1482 (+49)	24
鳥島 9724 (+145)	167
良根 7678 (+93)	95
和歌山 4万4927 (+572)	528
取根 1万4092 (+245)	220
鳥島 369 (+6)	10
本分 462	26
崎 884 (+5)	50
鹿児島 884 (+5)	50

ダイヤモンド・プリンセス(横浜クルーズ船)

712人 **13**

入院・療養(うち重症)	2万2550人 [555]	9日	計 17万50048人 (+2809)
退院・療養解除	14万1281人 (+1628)	午前0時現在	死者 2500人 (+42)

()内は前日からの増加、再陽性として重複発表したケースを除く。■内の数字は死者

国内の新型コロナウイルス感染者

[9日午後9時半現在]

県内新規感染3人

県は九日、福井市の七十年代と敦賀市の五十代、三十代のいずれも会社員女性計三人が、新型コロナウイル

スに感染したと発表した。県内の新規感染者の確認は三日連続で、感染者の累計は三百二十九人となつた。

七十代女性は七日に発熱、八日にPCR検査をした結果、陽性が判明した。発症の二週間以内に県外の滞在歴はない。五十代、三十代女性はいずれも八日に感染が発表された敦賀市の

四十代女性の会社の同僚。同じフロアで勤務していた十人をPCR検査した結果、二人の陽性が八日分かれた。三人はいずれも軽症。県は三人の同居家族計十人を濃厚接触者としてPCR検査する。重症者は一人で変わらず、新たに退院した人はなく、入院している人は二十人で病床数の占有率は9・3%となっている。

県内の新型コロナウイルス感染状況	
感染者数	
累 計	329 (+3)
男 性	182 (0)
女 性	147 (+3)
居住地	
福 井 市	179 (+1)
越 前 市	29 (0)
鯖 江 市	26 (0)
坂 井 市	26 (0)
あ わ ら 市	8 (0)
大 野 市	6 (0)
敦 賀 市	24 (+2)
小 浜 市	4 (0)
越 前 町	11 (0)
永 平 寺 町	4 (0)
南 越 前 町	2 (0)
若 狹 町	2 (0)
美 浜 町	1 (0)
高 浜 町	2 (0)
県 外	5 (0)
症状など	
死 亡	11 (0)
重 症	2 (0)
軽症ほか	18 (+3)
宿泊療養施設	0 (0)
退 院	298 (0)

*かつて内は前日からの増減。単位は人

「旅行するべきか もう一度考えて」 日医会長呼び掛け

日本医師会(日医)の中川俊男会長は九日の記者会見で新型コロナウイルスの感染拡大が続いている状況を受け、「感染対策ではうつさないことも大切。旅行を計画する人は今でなければならないか、もう一度考えてみてください」と国民に旅行の再考を求めた。

北海道や大阪府からの自衛隊派遣要請については、

「最終手段。そこまで追い詰められている」とした上で、全国でも同様の事態が起る可能性は高いと指摘。「特効薬はない。地道に愚直に粘り強く感染防止の行動を繰り返すしかな受け、「感染対策ではうつさないことも大切。旅行を計画する人は今でなければならないか、もう一度考えてみてください」と国民に旅行の再考を求めた。

東京都や大阪府が出店等への時短要請が十二月中旬に期限を迎えることには、「感染防止が最大の経済対策。行政はしつかり決断し、ベストに近いベターな選択をしてほしい」と述べた。

四十代女性の会社の同僚。同じフロアで勤務していた十人をPCR検査した結果、二人の陽性が八日分かれた。三人はいずれも軽症。県は三人の同居家族計十人を濃厚接触者としてPCR検査する。重症者は一人で変わらず、新たに退院した人はなく、入院している人は二十人で病床数の占有率は9・3%となっている。

(本田英寛、藤共生)